

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 まなざし

当法人は第2種社会福祉事業のうち、以下の事業を経営する。

(イ) 保育所の経営

1 保育理念、保育の基本方針、保育目標（めざす児童のすがた）

(1) 保育理念

- 1、ひとりひとりの子どもが、快適に生活し、健康で安全に過ごし情緒の安定を図る。
- 2、身近な環境、自然の中で様々な体験を通し、豊かな感性、創造性、思考力の芽生えを培う。

(2) 保育の基本方針

- *ひとりひとりを大切にし、個々の成長に沿った保育を心がける。
- *季節に応じた活動、行事を大切にし、様々な体験ができる環境をつくる。
- *異年齢保育によって培うことのできる思いやり、いたわりの心を育てる。また、発達の刺激、興味、関心の広がりへとつなげる。

(3) 保育目標（めざす児童のすがた）

- 1、元気いっぱい遊べる子
- 2、優しく、心豊かな子

2 施設の運営

(1) 保育所 きらきら保育園 本園

所在地 掛川市柳町36番地

定員 58人 令和2年3月末日

クラス	人数
ひよこ0歳児	3人
ひよこ1歳児	6人
うさぎ2歳児	8人
ぞう 3歳児	13人
くま4.5歳児	28人

3 施設設備の中・長期整備計画

- (イ) 園舎・園庭・屋外遊戯場等の維持修繕（実施）
- (ロ) 園内整備（実施）
- (ハ) 駐車場の整備（実施）

4 職員計画

- (1) 保育理念・保育方針・保育目標に基づき、保育課程、年間・月間指導計画、週案、日案等を策定し、児童福祉の増進を行った。
- (2) 関係する各種学校と連携を取りながら保育士志望学生、看護師志望学生の受け入れを行うとともに、地域の小中高生のために職業体験、保育実習の場を提供し、次世代育成支援をしていく。また、受け入れる目的が異なるため、職員全員が受け入れの意義や方針を理解し、その都度配慮し実施した。
- (3) 研修については、毎月の園内研修と各種外部研修会に参加し、研修での学びを共有して保育士の人間性と専門性を高めるなど資質の向上を図り、保育内容の更なる充実を行った。
- (4) 役割分担及び責任体制は、職員処務規程のとおりとするが、常に協調と連携を密にし、円滑な施設運営を行った。また、ICTシステムの導入により、業務の効率化を行った。

5 安全対策

- (1) 防災設備の定期点検は防火管理者を中心により実施した。
- (2) 火災・震災・不審者に対応できるよう消防署や警察と協力して訓練を実施した。児童の安全配慮を第一義とし、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。
- (3) 毎月の避難訓練の実施により、園児への防災意識の強化に努めた。
- (4) 衛生管理については、担当者を中心に研修会に参加し、より一層の徹底を図るよう努めた。

6 保育内容

- (1) 「英語であそぼ」や「体操教室」など外部講師を招いての保育の充実
- (2) 地域住民とのふれあい交流（ラクラス訪問や地区のふれあい祭りへの参加）
- (3) 「もりレンジャー」として倉真地区にある『時の寿の森』での野外保育及び市内各所での自然体験